

組織拡大に全力を!

2012年11月19日
No.68

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

11・27東北大一日行動へ!

東北大学学生自治会より11・27集会の呼びかけが発せられました。全国学生は総力で結集しよう! 以下呼びかけ文。

全 学生のみなさん! 私たちは、来る11月27日に『大学の主人公は学生だ! 11・27東北大一日行動』を開催します。学生の団結した力で、全面的なサークル活動破壊をはね返そう!

とりわけ、大学当局との長い闘いの中で勝ち取ってきた一サークル一部室、24時間使用のサークル棟を絶対に守り抜こう! 大学の主人公は学生であることを示そう!

東 北大学当局は、7・20『学生団体に対する説明会』及び7・26『学友会全学協議会』において、文化部サークル協議会(以下、サ協)が行っていた部室配分を暴力的に奪い取る「決定」を下しました。今回の「決定」による大学当局のねらいは、「非公認」サークルからの部室の取り上げです。そして、『内規』による際限のないサークル活動規制、すなわち一サークル一部室という部室の使用形態の破壊や24時間365日使用のサークル部室の解体のはじまりです。絶対に認めることはできません。

“部室の不足”を口実としたサークル活動破壊を止めよう! 一切の責任は学生の意見を無視して部室を増設してこなかった大学当局にあります。今こそ団結して部室の増設を勝ち取ろう。

2 004年の国立大学法人化は、大学を政府や企業のための大学へと変質させました。政府や企業にとって利益になるかどうかは一切の価値基準とされ、競争原理が大学の隅々を覆いました。また、それに批判的な声を大学からあげさせないことも一体で推し進められました。自治寮の廃寮化、サークル活動規制、学生自治団体に対する「非公認」化、誹謗・中傷などはそ



「反原発・大学奪還」を掲げて闘われた昨年の7・8東北大集会

大学の主人公は学生だ!



呼びかけ: 東北大学学生自治会 (G-13) / 東北大学文化部サークル協議会運営委員会 (F-14)
連絡先: サークル棟G-13 (学生自治会室)、tohoku_USC@hotmail.com

の典型です。

「大学は原材料を仕入れ、加工して製品に仕上げ、卒業証書という保証書をつけて企業へと送り出す」(高橋宏・首都大学東京理事)という言葉に象徴されるような、いかに企業にとって都合のいい「商品」となれるかで学生どうしを競わせ、弱肉強食のサバイバルレースに突き落としています。法人化は、学生が生き生きと活動することを否定し、仲間との共同性を破壊したのです。

3 ・11福島原発事故以降、大学の腐敗は満天下に暴かれています。大学は「原子力村」と癒着し、一体となって原発政策を推し進め、「原発安全神話」にお墨付きを与えていたのです。事故が起きれば、今度は「放射能安全神話」にお墨付きを与えるという形で、福島の人々を切り捨て、「原子力村」の原発再稼働に手を貸しています。

果たして大学の主人公は一体誰なのか。今こそ私たちの行動ですべての人々に学生こそが大学の主人公であることを示そう。11・27をその出発点にしよう! とともに集会に駆けつけよう。

●富山大生の11・4集会感想！

私たちが生きる現代社会を、このまま未来を生きる子供たちに胸を張ってひきわたすことができるのでしょうか？もう皆さんもとくに「私たちが自ら社会を変えない限り幸せにはなれない」と気付いていることでしょうか。今回の労働者集会では福島、沖縄の発言が深くそれを考えさせられたと思います。子どもたちが放射能や米軍基地に怯えながら生活をさせる。こんな腐敗した国を変えるのは労働者、闘う労働組合なのです。沖縄の職場では闘う労働組合を作りたい！組織を拡大したい！という思いが、富田晋さんの発言からひしひしと伝わりました。また、福島県には12月から「福島共同診療所」のオープンが決定されました。反原発運動の新たな拠点として位置づけられた「福島共同診療所」の建設を持って、さらに福島の怒りと連帯する契機にしたいと思います。そして、10・1外注化を強行された悔しさをバネに、より強固な団結を誓った動労千葉のような労働組合を全国各地でつくることが急務です。とりわけ、若年層の2人に1人が非正規雇用という現状の中では、職場・地域に深く根付いた合同労組が必要になってくると思います。今回の集会では、全国各地に闘う労働組合をつくることの重要性を学びました。自身の職場・キャンパスで闘ってこそ団結が生まれることをいま一度肝に命じて、私もキャンパスで闘ってまいります。



11月16日、霞ヶ関での反原発行動！



11月14日、ヨーロッパ23カ国でゼネストが闘われる！

11・11 民主労総労働者大会に3万人！

11月11日、「整理解雇中断！ 非正規職撤廃！ 組合破壊中断！ 労働者参政権保障！」をスローガンに掲げた韓国民主労総労働者大会が闘われました。ソウル清溪川（チョンゲチョン）の平和市場前に労働組合の旗を押し立てて労働者が続々と結集し、あたり一帯が労組隊列で埋まりました。午後2時からソウル駅前に向かってデモが出発し、民主労総の底力を見せ付けた。駆けつけた動労千葉・田中委員長は大会後「改悪された労働法のもとで御用組合がつけられるような困難の中で闘っている民主労総。この韓国の労働者と団結していけるのかどうか。これが今日の訪韓闘争の課題だった。労働運動なんだから困難が絶対につきまとう。その困難を日本の労働者が職場の闘いで突き破ってみせることが、日韓国際連帯だ。11月集会の課題もここある」と総括を提起しました。



↑ ↓ ソウル市内をデモする民主労総3万人！



動労千葉や全学連も合流して闘われた！

